

人事委員会事務局決算の概要

1 決算総括

人事委員会は中立的で独立した人事行政の専門機関として、職員採用試験や人事行政に係る報告及び勧告等の業務を実施している。

令和6年度は、多様で有為な人物を確保するため、広報活動の充実を図るとともに、上級「京都方式」、上級「秋季枠」及び免許・資格職採用試験において試験内容の見直しを行った。さらに、転職市場の活性化を踏まえ、「経験者（一般技術職）」を従来の11月に加えて、6月にも実施し、年2回の実施とした。

また、職員の勤務条件が社会一般の情勢に適応したものとなるよう、給与等に関する報告・勧告を行うとともに、各事業場の勤務状況等を調査し、必要な助言等を行う事業場調査を実施した。

今後とも、職員採用試験の在り方や広報活動などに関する様々な方策並びにより本市にふさわしい給与制度や勤務条件について検討を行い、本市の職員力と組織活力の向上を目指していく。

2 重点取組の実績

(1) 有為な人物の採用

取組名	実績
人物重視による職員採用試験の実施	・第1次試験から個別面接を行う上級「京都方式」をはじめ、全ての採用試験で人物重視の選考を実施
広報活動の充実	・職員採用ガイダンスや大学等でのガイダンスの実施、合同企業説明会への参加など、多様な手法、媒体を通じて市職員の仕事の魅力を発信 ・就職活動の早期化に対応するため、大学1～3回生や高校生を対象に業務説明や座談会、職場見学会を中心とした「オープンカンパニー」を開催 ・社会人から大学生まで幅広い世代を対象とした、職種別の「座談会」を開催

(2) 適切な勤務条件の確保

取組名	実績
給与その他の勤務条件に関する報告・勧告の適切な実施	・民間給与と職員給与の比較に基づき、国等の制度との均衡等を考慮のうえ、給与に関する報告及び勧告を実施 ・その他、多様で有為な職員の確保、職員の成長を通じた組織パフォーマンスの向上、全ての職員の活躍に向けた魅力的な公務職場づくり、公務員としての服務規律の徹底及び社会と公務の変化に応じた給与制度の整備（給与制度のアップデート）について報告を実施 ・労働関係法令の周知・啓発及び適切な勤務条件の確保等に向けた取組の支援を目的に、事業場調査を実施

(単位:千円)

3 人事委員会事務局所管の決算額

(1) 一般会計

ア 歳出

款項	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
総務費	35,800	30,709	-	5,091
人事委員会費	35,800	30,709	-	5,091

4 人事委員会事務局主要施策の概要

〔当初予算額<第二次編成後>の下の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。〕

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) 〈第二次編成後〉 (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
	一般会計合計	千円 35,800	千円 35,800	千円 30,709	千円 5,091
(1 人事行政)		35,800	35,800	30,709	5,091
人 事 行 政	職員任用（採用試験等）	32,973	32,973	28,746	4,227
	人事委員会報告・勧告	458	458	210	248
	公平審査その他調査	989	989	490	499
	人事委員会運営	1,380	1,380	1,263	117

(人事委員会事務局-1)